

# 第1回 高槻景観ワークショップ つくろう！高槻のええとこ ～記 録～

実施日：平成19年7月21日(土)  
午前10時から12時半  
場 所：高槻現代劇場2階  
出席者：参加者38名  
中林浩先生(平安女学院大学教授)  
市職員、コンサルタント

## 開会のあいさつ

- ・ 高槻市役所都市政策室長：小林より開会の挨拶が行われました。

### 【挨拶要旨】

- ・ 市では、平成20年度に高槻で初めての景観計画、景観条例を策定することとしています。
- ・ この「景観ワークショップ」は、昨年につづき2回目の開催になります。
- ・ 去年は、まず、高槻の「ええとこ」をもちよるところからはじめました。そして、今回は、昨年より一歩進めて、そのよき景観をいかに守ることができるか？ 残していけるか？ を考えていければと思っています。
- ・ また、今回参加いただいている、60名近くのみなさんの年代は、10代の方から70代の方まで非常に幅広い年齢層にわたっています。ぜひ、多世代の多くの方と、高槻への思いや体験談などを共有いただくとともに、高槻の景観の向上策を提言として取りまとめていただければと思います。
- ・ 最後に、このワークショップを通じて、高槻の再発見や気づき、そして、新しい仲間との出会いを大切にいただき、「ここに来ていい人に出会えた」、「来て楽しかった」と思える場を皆さんとともに作り上げていければと思っています。



都市政策室長からの挨拶

## ガイダンス

- ・ コンサルタントより、ワークショップの目的及び全体の予定、本日のワークショップの進め方等に関する説明が行われました。

## ミニ講演「私たちがつくる高槻のええとこ」講師：中林浩教授(平安女学院大学)

- ・ 景観ワークショップを進めていくのに先立ち、高槻市景観懇話会の副会長でもある平安女学院大学の中林教授よりミニ講演をして頂きました。

### 【講演要旨】

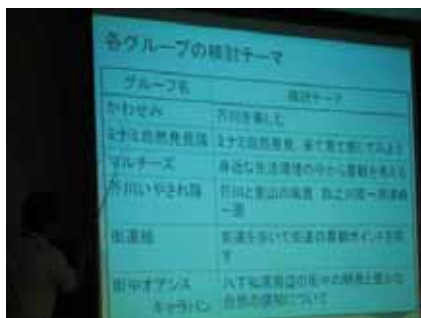
- ・ 2004年、市町村によって景観計画を作るという景観法が制定されました。計画の大枠は市の基準として、多くの市民や建築の専門家等でガイドラインを作っていくことになります。
- ・ そのために、このようなワークショップで話し合っていく内容が重要な指針として記録となって、計画づくりに活かすことになります。
- ・ ここで話し合った内容は、参考意見ではなく、高槻の景観計画について本体を作るような作業になるということを意識して取り組んでいただければと思います。
- ・ 昨年のワークショップでは、自然景観をテーマにしたグループが多くできました。自然景観ももちろん重要ですが、ぜひ、人間が手を加えたまちの景観にも目を向けてほしいと思います。そして、次へのきっかけとなる第一歩として頂ければと思います。
- ・ 中には、ワークショップに集まっている人は高槻市民の中で少数ではないか、という意見があるかもしれません。しかし、特に景観に関心のある人がこれだけ集まったことが重要であり、これからの景観まちづくりをリードされていくことを期待したいと思います。
- ・ さらに、景観は10年、20年たつてようやくわかることが多いということもあります。長い目を見た景観まちづくりに取り組んでください。



中林教授によるミニ講演

## ワークショップ（昨年のワークショップ）のふりかえり

- ・ 高槻市都市政策室より、昨年のワークショップの様子が紹介されました。



ワークショップ 各グループにおける検討テーマを紹介

### 「私のお気に入り景観」紹介

- ・ 出席したメンバーひとりひとりが、自己紹介と持参してきたお気に入りの景観（写真）の紹介を行いました。



「私のお気に入り景観」を紹介

### グループ分けフリータイム・グループ発表

- ・ 「私のお気に入り景観」の紹介と自己紹介をうけて、自分と関心が近いような人とグループになってもらいました。
- ・ その後、あらためて自分の関心事を出し合い、「今後、グループとしてどういうテーマあるいは地域で議論をしていくか」や「グループの名前」について検討し、最後に「グループ名」と「検討テーマ」が発表されました。



グループ分けの様子



グループ同士で「テーマ」について検討中

- ・ 決定した検討テーマ・グループ名は以下のとおりです。

グループ名	検討テーマ
(仮)ちょっとまち～や <ちょっと町～家>	市街化の圧力にさらされ、次第に失われていく古き良き町家を「ちょっとまち～や」と残すことを考えるチーム。 町家を残したいと思う人はたくさんいるけど、住む方はとても大変。古いもの、新しいものバランスをとって、どうしたら、町家を残していけるのかについて考える。
(仮)街道ぐみ ぐっチーム (まちなみと安全)	高槻に昔から残る町家や道標などの歴史的資産、そして、それらを結ぶ街道の景観を中心に考えていくチーム。 また、「街道＝道」に着目して、人が安心して歩ける、楽しい道づくりなど、「まちなみと安全」という視点からも景観との関係を考えていく。

グループ名	検討テーマ
まちなか仕掛け人	高槻の玄関口となるJRと阪急の間を中心に考えるチーム。 高槻の「玄関＝まちの顔」の空間って？玄関のおもてなしの空間って？を探っていく！ 人の集まる「まちの顔」を男前にするため、商店街、緑、歴史資産などなどをつかった、いろんな高槻のまちなかの「仕掛け」を考える。
歩いて芥川、再発見	動植物などの自然の恵みや癒しを与えてくれる「芥川」について考えるチーム。 高槻を南北に走り、山間部から淀川まで、いろんな表情を見せる芥川を、歩いてみて、味わってみて、そのよさや課題を発見する。また、川沿いの歴史資産やちょっとした風景などにも目を向けていく。
かん×3	「おいしくてやさしい風景」をサブテーマに、原盆地を中心に、美味しい「食の喜び」を与えてくれる農地や里山、そして、そこに根付く歴史や文化などについても考える。また、その中で、食の安全や食育についても考え、里山のおいしくてやさしい風景をどうやって発信して、守っていけるのかを考える。
親しみず、暮らしみず、楽しみず	水路など、生活するうえで欠かすことのできない水の景観について考えるチーム。 暮らしと関わりのある水路や親しみのある水辺をテーマに、水と人の暮らしとの関係を考えながら、水と親しみ、楽しむことのできる景観づくりを探っていく。
(仮)花と緑グループ	人に癒しや活力を与える緑や花を愛するチーム。 花と緑の景観を中心に考えていく。グループ名や検討テーマについては、次回メンバーそれぞれが好きな自然・夕日・花などの写真を持ち寄り、絞り込んでいく予定。

#### コメント：中林浩教授（平安女学院大学）

- ・ 中林教授より、本日のワークショップのコメントとして、「どのグループもみなさん熱心に議論されており、これからが楽しみ」、「今回は、市街地に関心のあるグループが多かったのが特徴的である」といった御意見を頂きました。

#### 次回の確認とふりかえりシートの記入

- ・ 最後に、次回ワークショップの日時、場所等の確認と、ふりかえりシートの記入をしていただきました。
- ・ 次回は、さらにグループごとの議論を深めるため、各グループのテーマに沿った写真を各自がたくさん持ち寄って、イメージの共有を行うとともに、グループとして最終的にとりまとめる景観保全・育成のための道具づくりや活動企画について議論していただきます。
- ・ また、現在実施中の「高槻のええとこブログ」において、高槻市の良いところ・自慢できるところの写真とそれに対するコメントを募集している点、また、「高槻景観八景」への応募の件をお知らせしました。
- ・ 次回は、8/4（土）10時～ 高槻市総合センター14階C1401で行われます。

## 参加者のひとことから

- ・ 第1回ワークショップを終えて、参加者の皆さんに振り返りシートを書いて頂きました。その一部を紹介します。

自由な発言多発、好感。

まちづくりをされてきた人もグループの中にいるので、お話を聞くのが楽しみです。

高槻には面白い所が数多くあり、集った人達の興味がとても広くにわたっているのに驚きました。知識豊富な方々にいろいろ教えて頂けると思うととても楽しみです。

グループ各テーマを決める際、いろんな楽しい会話が飛び交い新鮮でした。

自分が何に関心があるか漠然としていたが「水路」写真の提供を見てこれだと自分の興味を具体的なテーマとして再発見出来たことはラッキーでした。

今度は「まち」系で行こうと思っていたら、人がたくさんいたので少し驚きました。街並を訪ね、歩きたいという思いはだいたい共通しているようです、楽しみです。

興味を持っている方向が同じなので話がスムーズに運び、楽しくなりそうです。

皆さん全員の自己紹介を聞いたことは面白かったです。